

発電所だより 2024年8月号

女川原子力発電所2号機の安全対策の
取り組みや営業運転開始までの工程
に係る進捗状況などをホームページで
公開しています



東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ
女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111
2024年8月発行

《立地自治体による立入調査が実施されました》

7月25日、「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書(安全協定)」に基づき、宮城県、女川町、石巻市による立入調査(登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町も同行)が行われました。当社としては、今回いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の発電所運営に生かしてまいります。

主な 調査項目

- 新規基準に基づく安全対策工事完了に係る確認
- 6月12日に発生した非常用ガス処理系の計画外作動に係る確認
- 安全性向上に向けた取り組み状況

宮城県原子力安全対策課 長谷部課長による自治体を代表した講評(抜粋)

- 女川2号機の再稼働工程の見直しの原因となったアクセスルート等への仮設建築物の影響評価の未実施については、類似の事例を発生させることのないよう、発電所の運営にあたっては計画段階から慎重かつ確実に検討を行い、安全確保を第一として臨むこと。
- 安全性向上に向けた取り組みは、継続的に行われることが重要であり、形骸化することのないよう、自主的に取り組む組織文化の醸成に努めること。



現場確認の様子



宮城県原子力安全対策課 長谷部課長による講評

《石巻の夏の風物詩「石巻川開き祭り」に企業グループで参加し、祭りを盛り上げました》

8月3日から4日にかけて石巻市で開催された「石巻川開き祭り」に、石巻・女川地域に事務所を置く東北電力企業グループの従業員約120名が参加しました。

「孫兵衛船競漕」では東北発電工業の「東発水漕楽部」が、予選・準々決勝・準決勝を突破し決勝に進出。観客からたくさんの声援をいただき最後まで奮闘した結果、4位に入賞。「大縄引き」では女川原子力発電所の「ONE チームおながわ」が1回戦を突破し、去年は惜しくも初戦敗退だった雪辱を果たしました。「大漁踊り」では各グループ企業から参加した踊り手が高らかに響きわたる唄と太鼓の音色に合わせ、華麗に踊りを披露し祭りを盛り上げました。



孫兵衛船競漕



大縄引き大会



華麗な踊りを披露した大漁踊り



《「石巻川開き祭り」のほかにも地域のお祭りや清掃活動に参加しました》

発電所員一人ひとりが地域の皆さまとの交流を深めるとともに、地域を元気にしたいとの思いから、地域のお祭りや清掃活動に参加しました。



おながわみなと祭り

開催日 7月28日



発電所員10名が運営スタッフとして参加し、祭り会場の設営やエコステーションの運営などに参加。また、少しでも暑さを和らげていただくため、うちわを配布しました。



エコステーションの運営



来場者にうちわや風船を配布



牡鹿鯨まつり

開催日 8月10日



発電所員5名が運営スタッフとして参加し、会場の設営に汗を流したほか、鯨の炭火焼きの試食提供などをお手伝いしました。



会場設営の様子



小屋取浜・夏浜の清掃活動

実施日 7月31日



発電所員約50名が地域の方々と協力し、「鳴り砂」で知られる小屋取浜と夏浜の清掃活動を行いました。浜辺に打ち寄せられた流木やごみを丁寧に拾い集め、地域の方と一緒に汗を流しました。



小屋取浜での清掃活動



地域の方と発電所員



女川牡鹿フォトフェスティバル2024 開催日 7月28日、8月10日

おながわみなと祭りに合わせ、女川原子力発電所地域総合事務所にて、女川牡鹿フォトフェスティバル2024（主催：東北電力）を開催しました。また、牡鹿鯨まつりに合わせ、ホエールタウンおしかにも出展。女川町・牡鹿半島で撮影された、地域の素晴らしさが伝わる写真87枚を展示し、2日間で822名に来場いただきました。



地域総合事務所での展示
(7月28日)

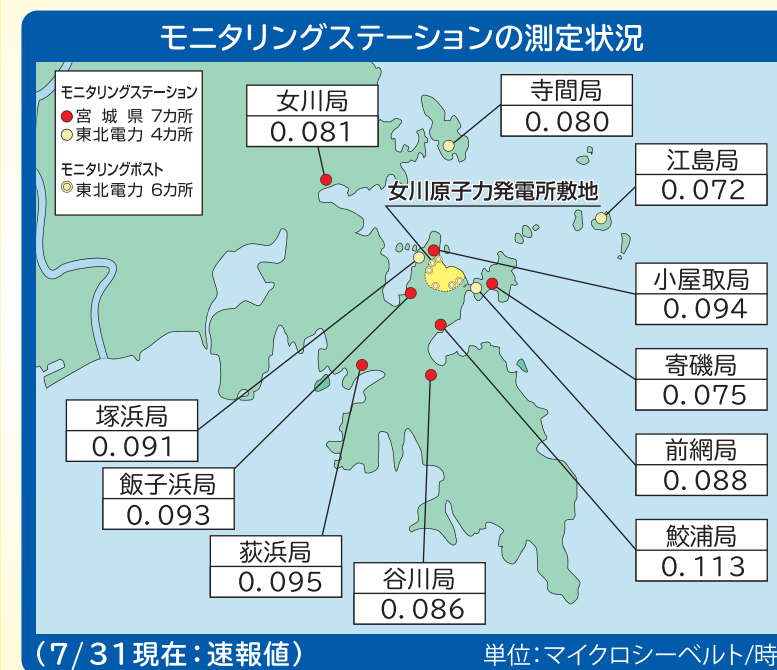


ホエールタウンおしかでの展示
(8月10日)

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2024年7月31日の測定値は、最大で0.054マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考) モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年 3月11日	0.027～0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年 3月13日	1.8～21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年 4月 1日	0.063～0.098
2013年 4月 1日	0.055～0.076
2022年 4月 1日	0.033～0.045
2023年 4月 1日	0.034～0.046
2024年 7月 1日	0.033～0.045
2024年 7月31日	0.033～0.054

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。



再生紙を利用しています